

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D3	
		仕 様		LGP	
		適用号機		XT500001～	
区 分	検 査 箇 所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度			
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2100	
		ローアイドルリング	min ⁻¹	950	
		トルコンストール状態 （冷却水温）	min ⁻¹ （℃）	— (70～80)	
		（作動油温）	（℃）	(80～90)	
	エンジン油圧		kgf/cm ² KPa	375～ (60～70)	
		（油 温） （回転速度）	（℃） (min ⁻¹)	(1800-2400)	
		弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 （測定条件）	mm mm	0 0 (冷間時)	
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ² KPa	設定なし (コモンレール)	
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] [kgとNの両方で表記]	mm [N]	設定なし (自動張り調整)		
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル		ペダルの遊び取り付け高さ ペダルの遊びとストローク ペダルの全ストローク	c m c m c m	—
	走行 ミ ク ラ ッ シ ョ ン ・ 油 圧 レ ン ス	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa kg/cm ²	—
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	—
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	KPa kg/cm ²	—
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	—
			クラッチ油圧	KPa kg/cm ²	—
		(ミッション油温)		(℃)	—
		(エンジン回転速度)		(min ⁻¹)	—
		プロベラーシャフト		ボルト締付けトルク	N・m kg・m
	ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	c m c m	—
ステアリングクラッチ油圧		MPa	—		
(油 温) (回転速度)		kg/cm ² (℃) (r p m)	—		

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D3	
		仕様		LGP	
		適用号機		XT500001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
走行装置	クローラベルト	ベ ル ト	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—
			鉄 シ ユ ー	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm
		リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)		mm	—
		履板取付ボルト 締付けトルク 測定方法・条件		N・m kg・m	170±40 180±5°増し締め
		制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5以上
作業装置	シリ ン ダ ー 自 然 伸 縮		ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分
		ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)		mm/分	33mm/5分 チルト左一杯
		リッパースhiftシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)		mm/分	6mm/5分 地面から254mm
		リッパースhankシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)		mm/分	—
		ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分 mm/分	—
	作業 機 速 度	(作動油温)		(℃)	
		ブルドーザー	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.2±0.3秒 地面～最大
			リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	1.3±0.2秒 地面～最大
ドーザー・ショベル		リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	
	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒			
		(作動油温)		(℃)	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	kg/cm ² MPa	20.6±0.9 (38～65)	
		(作動油温)	(℃)		
備考					

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
図 1．履帯調整方法	1．車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2．バルブ・カバーを外す。（図は開けた状態） 3．トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ（2）を閉めてください。 5．バルブ・カバーを閉じる。 6．反対側の履帯に同様の作業を行う。